



オリエンタリズム

吉岡憲彦

西洋から見た東方（東洋）への異国趣味、思考様式を指す言葉。エドワード・サイードは『オリエンタリズム』（1978）において、西洋における東洋の社会や文化に関する見解には、後進性についての無意識な確信があると指摘したが、アジア域内では、オリエンタリズムの対象とされる側がその思考様式の影響を受け、逆に西洋崇拜的な思考や価値観をさらけ出してしまふ現象もある。また、特に日本が主体となるアジア域内での国際的な文化事業においては、日本がアジアを見る目にも、オリエンタリズム的な無意識が潜んでいる可能性が指摘されることもあり、ポスト・オリエンタリズムの地平をどのように拓いていくかは、今なお続く課題である。

一方で、エキゾチズム（異国趣味）のようでオリエンタリズムとの接点もありそうな現象に、例えばタイにおける、タイ人によるタイ人のための日本イベントにおける日本「風」パフォーマンスがある。大使館や日本政府関係機関の代表者がVIP席に居並ぶ前で、様々な伝統「的」あるいは日本「風」要素が散りばめられたパフォーマンスが披露されるのだが、もはや日本人が「純正」な日本文化あるいは正統的な伝統との隔たりをどう指摘しようとも無為なほどに、日本イベントにおけるある種の「型」として定着している。この関係性が別の国どうしであった場合、どう理解されるものであるか、また、これ自体、日本人は苦笑いで済ませてしまえることも含めて、ここにもやはりオリエンタリズム的な関係が潜んでいるのではないかと感じられるのである。



ウジェーヌ・ドラクロワ《アルジェの女たち》1834年

西洋人が持つ東方世界（アフリカ北部含む）のイメージが現れているとされる。

出典: https://www.freeart.com/artwork/art-print/women-of-algiers-in-their-apartment_fan16716968.html



フェリックス・バコロール《荒れそうな空模様》2009/17年

風鈴、サイズ可変

「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」展示風景、森美術館、2017年

撮影：木奥恵三 協力：森美術館、東京



タイの住宅販売の広告に見られる西洋イメージ

出典: (上) <https://www.checkraka.com/house/อินดี้-รังสิต-คลอง-2-Indy-Rangsit-Klong-2-1451070/>

(下) <https://park.co.th/tag/คอนโดหรู-สไตล์อังกฤษ/>



ショッピングモールでの、タイ人によるタイ人のための日本「風」パフォーマンス

出典: <https://www.facebook.com/themallshoppingcenter/photos/3756961994322470>

関連リンク

- 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」 展覧会ウェブサイト <http://sunshower2017.jp/>
- The Mall Japan Discovery 2020（動画・タイ語） <https://www.youtube.com/watch?v=UdJjQFj90Zw>